



ヒビチュー2015 愛を叫びたい男性及び夫婦を募集！ 日比谷公園の中心で妻に愛を叫ぶ 1月28日(水)17時から開催



株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)と日本愛妻家協会(本部:群馬県吾妻郡嬭恋村)は、愛妻の日1月31日を前に、1月28日(水)17時から、日比谷公園(東京都千代田区)の大噴水前で、帰宅途中のサラリーマンなどの男性に、日頃言えない奥様への愛や感謝の言葉を叫んでいただき、愛妻の日テーマフラワー“チューリップ”の花束をプレゼントするイベント「日比谷公園の中心で妻に愛を叫ぶ 男の帰宅花作戦 2015～男は花を持って家に帰ろう～」(略称:ヒビチュー)を開催します。このイベントに参加する男性(既婚・未婚問わず)・夫婦を募集します。(参加申込方法は以下を参照ください。)

1月31日は奥さんに日頃言えない感謝や愛の言葉を花とともに伝えようという趣旨で行う、今年で8年目となるこのイベントでは、特設ステージの上で、奥様の名前もしくは奥様への感謝の言葉・愛の言葉を大声で叫んで頂いた男性に、愛妻の日テーマフラワーである“永遠の愛”を花言葉に持つチューリップの花束と、割引特典付き「日比谷花壇特製 愛妻家宣言証」、「日本愛妻家協会×日比谷花壇 特製ハグマット」をプレゼントします。夫婦での参加も歓迎します。「日比谷花壇特製 愛妻家宣言証」は、“私は、妻というもつとも身近な存在を大切にしたい”という宣言付きの名刺サイズのカードで、裏には、愛妻家として忘れてはいけない“奥様の誕生日”、“結婚記念日”、“お二人だけの記念日”を書き込めるようになっています。

またあわせてプレゼントする特製ハグマットは、夫婦の絆を深め対話を促進できる実践マット(紙製)です。

このイベントは、“愛妻の日をきっかけに、言葉に出していえない愛と感謝の気持ちを花とともに伝え、夫婦の対話を増やして絆を深めよう”と、日本愛妻家協会と㈱日比谷花壇が共同で開催するものです。

日 時:	2015年1月28日(水) 17:00～18:00
場 所:	日比谷公園 大噴水前 (東京都千代田区)
主 催:	株式会社日比谷花壇、日本愛妻家協会
参加対象:	男性(既婚・未婚問わず) *夫婦での参加も歓迎 ※観覧自由(性別問わず)
プレゼント内容:	愛妻の日テーマフラワー「チューリップ」の花束 (花言葉:永遠の愛) 「日比谷花壇特製 愛妻家宣言証」 「日本愛妻家協会×日比谷花壇 特製ハグマット」
プレゼントする条件:	特設ステージ上で奥様への感謝の言葉・ 愛の言葉を大声で叫んで頂いた方 *プレゼントは数に限りがあります。 *未来の妻にむけた愛の言葉の叫びも可。
参加申込方法:	以下ウェブサイトの叫び参加申込みフォームから事前にエントリーし、ヒビチュー当日に、 日比谷公園大噴水前の叫び参加受付に17時に集合ください。 (事前にエントリーをしていない当日の飛び入り参加の方は、叫び参加受付にて登録をお願いします。)
イベント詳細:	http://aisai.hibiyakadan.com/ (イベント詳細、参加申込み先ページは1月7日公開予定)



昨年開催した「日比谷公園の中心で妻に愛を叫ぶ(ヒビチュー)2014」の様子

日本愛妻家協会について(<http://www.aisaika.org/>)

“妻というもつとも身近な存在を大切にしたい人が増えると世界はもう少し豊かで平和になるかもしれない”と、日本独自の伝統文化かもしれない愛妻家というライフスタイルを世界に広めたいと、文化活動を行っています。その象徴の日が1月31日の1をアルファベットの「アイ」、31を「サイ」とかけた愛妻の日です。日本愛妻家協会は、「吾婦者耶(あづまはや)」「ああ、わが妻よ、恋しい」と嘆き、亡き妻をいとおしんだ「日本武尊(やまとたけるのみこと)」の故事にちなんで村名が付けられたという、群馬県吾妻郡嬭恋村を拠点に活動を行っており、平成20年度地域づくり総務大臣表彰 団体表彰を受賞しています。

株式会社日比谷花壇について(<http://www.hibiya.co.jp/>)

1872年創業。1950年に東京・日比谷公園に出店後、株式会社日比谷花壇設立。現在、全国に約180店舗を展開し、フラワーディスプレイ、フラワーギフトの企画・制作・販売、装花を伴うイベントのプロデュース等を行い、花と緑溢れるライフスタイルを提案しています。当社は、花が、夫婦の絆を深める役割を果たすことができると考え、日本愛妻家協会が行う愛妻の日の活動に賛同し、この「男の帰宅花作戦」の取組みを2008年から毎年展開しています。“永遠の愛”を花言葉にもつチューリップを、日本愛妻家協会が提唱する愛妻の日にあわせたテーマフラワーに制定。“愛妻の日をきっかけに、言葉に出していえない愛と感謝の気持ちを花とともに伝え、夫婦の絆を深めよう”とより多くの人々に呼びかける活動を行っています。